

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。

お問い合わせは 75-1772.

昆虫も沢山掲載

茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

記号の説明:

①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

残念ながら大雨で中止 (悦)

4月、5月と順調に好天に恵まれたのですが、6月18日の予報は雨。前日になっても100%雨の予報なので、一端、座学にするご連絡をしましたが、夕刻になっても午前中大雨という予報が変わらなかったため、土砂降りの中の移動は危険なので中止にしました。月例観察会13年間の中、座学もせず中止にした記憶はありません。本番に備えて、12日にスタッフの4名で下見をしました。この時は天候にも恵まれ、チョウ、トンボが飛び交い、夏の気配を感じました。月によって観察できる対象は変わるので、座学になっても6月の森を感じてもらえるよう、写真をたくさん撮りましたが、紹介もできず、残念です。毎月、市民の森の第一駐車場、ゆいわーく茅野1F フリースペースに参加者のコメントを纏めて掲示していますが、今月は下見の情報を纏めて、掲示することにしました。

ミヤマガズミの花は終わった

ガズミ属の花は、オトコヨウゾメ→コバノガズミ→ガズミの順に咲きます。花の構造が同じなので、花粉を運んでもらう昆虫の順番待ちか、雑種を産まない作戦か？では、ミヤマガズミは、いつ咲く？ミヤマガズミの花は観察例が少ないので、今後の観察待ち。



ミヤマガズミの葉は毛がなく、ちょっとゴワゴワしている。

WEB図鑑を作りました。

花の色、開花月、花の名前で検索できます。この地域での、散歩などに、活用ください。

<https://8moribunka.sakura.ne.jp/shimimoriguide/>



イケマ(牛皮消)の葉を見つけたら



イケマの葉

裏には アサギマダラの卵



丸い穴が開いていたら

裏にはアサギマダラ幼虫

アサギマダラを受難

孵れた卵もあれば、何者かに襲われた卵も？幼虫になっても敵は沢山。うまく成虫になり、空を飛ぶことができることを祈って



森を彩る花や実

	ガマズミ(英迷) ①83 先月はコバノガズミ、今月はガマズミ。市民の森のガマズミ属の花は、オトコヨウゾメ→コバノガズミ→ガマズミの順に咲く。
	ウツギ(空木) ①88 茎が空洞なので 空木 。枯枝を折ってみて確認。
	サワギク(沢鞠) ①87 花盛り。しかし、その後はボロギクになってしまいます。
	コウリンタンポポ(紅輪蒲公英) ①87 頂上広場の縁で、群れて咲いていました。
	ニガナ(苦菜) ①87 目立たず、ひっそりと咲きます。時々、白花も見かけます。
	サンカクヅル(三角藪) ②82 開花まであと少し。
	ミヤマウグイスカグラ(深山驚神楽) ①67 ミヤマウグイスカグラは毛深い。実にも腺毛が沢山見えます。 味比べは ①24

6月観察した動物

<昆虫>

- ウスバアゲハ※未交尾②109
- ミヤマカラスアゲハ♂春型②109
- キタキチヨウ②110
- ミドリシジミ幼虫②60
- イチモンジチョウ②114
- ヒメウラナミジヤノメ②115



- コムシジ②115
- スミナガシ幼虫②115
- クロヒカゲ②116
- アサギマダラ幼虫、卵②117
- ヒョウモン類 1頭
- ヤママユの幼虫②119
- キンモンガ②120
- トラガ②120
- アゲハモドキ②120
- ニワハンミョウ②124
- ニホンカフンボ②127
- シオヤトンボ②128
- ヨツボシトンボ
- ヤンマ類1頭
- オオマルハナバチ②133
- エソハルゼミ②129
- アカスジキンカメムシ②130
- ジュウジナガカメムシ②130
- ツノアオカメムシ
- シマサシガメ
- ゲンゴロウ

<魚類>

- アマゴ

6月観察した花

- ★ニガイチゴ①72
- ★クサノオウ①73
- ★ニガナ①87
- ★ウツギ①88
- ★ガマズミ①83
- ★フタリシズカ①83
- ★イチヤクソウ①94
- ★ウメガサソウ①94



- ★オオヤマフスマ①74
- ★ギンリョウソウ②76
- ★ニガイチゴ①72
- ★シロニガナ
- ★イボタノキ①80
- ★オオバアサガラ①130



- ★ツリバナ①82
- ★ナワシロイチゴ①86
- ★ヤマツツジ①79
- ★レンゲツツジ①78
- ★コウリンタンポポ①87
- ★クモキリソウ①94
- ★マムシグサ①79

ミドリシジミ ②50

昨年の最終観察会(11/7)でハンノキにミドリシジミの卵を見つけ、標をつけておきました。そのハンノキで6月12日に若葉を綴った中に終齢と思われる幼虫を発見。年1回の発生、後は蛹と成虫を観察したいものです。



2023.11.7 卵



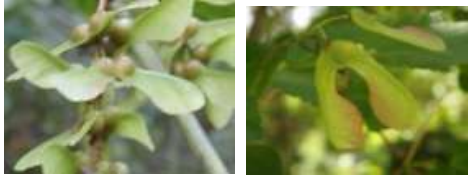
2024.6.12 幼虫

ヒツパカエデ(一葉楓)

カエデと言えば葉に切れ込みのあるものが多いのですが、ヒツパカエデは葉に切れ込みがないのが特徴です。もう、プロペラのタネを付けています。



タネの羽の角度は、カエデの種類によって違います。種を同定するポイントにもなります。



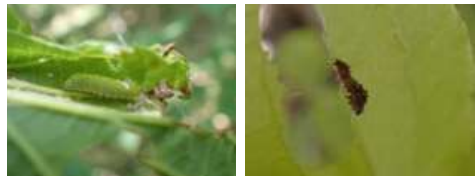
ウリハダカエデ

カラコギカエデ

蝶の幼虫、続々 ②50

蝶の幼虫の食草・食樹はそれぞれ決まっています。樹や草の葉が茂り始めるこの季節、それぞれの樹や草で多くの幼虫を見ることができます。

↓ヤマハノキにはミドリシジミの幼虫



ヤマカシユウにはルリタテハの幼虫↑

「アワブキの先端に、食痕！」 ②115 ②47

これは、葉っぱに先に葉の切れ端がぶら下がるスミナガシの幼虫独特の食痕です。



花の季節は終わったはずのスミレに蕾が！



この蕾の正体は閉鎖花です。つかの間の春に咲き、虫に花粉を運んでもらわないとならないのは、結実率が低い。そこで、閉鎖花で確実にタネを作る作戦。しかし、極端な近親結婚なので、子孫に遺伝的な弊害が生じる可能性がある。
上図:多田多恵子著「したたかな植物たち」より

ミズキ(水木) ①79

4月には枝ぶりに注目しましたが、6月花は終わってしまいましたが、葉の付き方で枝ぶりが納得できませんか？



ミズキの材は、白くきめ細かいので、こけし、玩具などに利用されてきました。

化粧する葉 マタタビ(木天蓼) ②83

マタタビが化粧を始めました。なぜ、葉に化粧をするのか？ 多田多恵子著「葉っぱ博物館」では虫を呼ぶためと、書かれています。



コクサギ(小臭木) ①137 ミカン科 コクサギ属



観察点

- ・コクサギ型葉序 葉が茎に2枚ずつ交互につく
- ・匂い(クサギと比べてみよう)
ミカン科だから柑橘系の匂いがしませんか？
この匂いには防虫効果があるといわれていて、かつては虫除けとして用いられていたようです。
- ・葉に腺点があり、ここから匂いがでます。

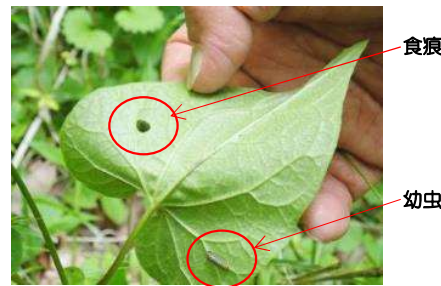
フタリシズカ(二人静) ①83

穂状花序を数本出す。3個の雄しべがまるく子房を抱く。



アサギマダラ幼虫 小さな穴から卒業か

若齢幼虫は葉裏の葉脈を円形に切り、毒抜きされた丸くなった部分を食べ、イケマの毒に対応できるようになると小さな穴から卒業して、葉の縁から食べ始めると言われています。この幼虫は小さな穴からの卒業なのか。



今年も ヤママユの幼虫 ②119



6/12の下見のとき、去年7月と同じコナラの木にヤママユの幼虫がいました！！ まだまだ大きくなります。



これはギンリョウソウ(銀電草)②76 か ギンリョウソウモドキ(銀電草擬)か？



👉
時期的にはギンリョウソウだが、なんとなく、ギンリョウソウっぽくない感じだが？

ギンリョウソウは液果(多肉化した果皮が成熟後も水分を多くもっている果実で、トマト、ブドウなど)。実を食べてタネを糞として撒いてくれるのはモリチャバネゴキブリということが分かってきたようです。モリチャバネゴキブリは夜行性、成虫は飛ぶのが得意。8月頃に観察できるギンリョウソウに似たギンリョウソウモドキは、蒴果(スミレ、カタバミ、ナデシコなどの実)になる。

タネを見れば判断できます。



ギンリョウソウ 液果

ギンリョウソウモドキ 蒴果